



かけはし

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL: 042-471-6600 FAX: 042-471-6600

HP「成美教育文化会館」で検索！

平成29年11月(第8号)

「道徳科の評価」って、どうなるの？

平成30年度から特別の教科として「道徳科」ができ、教科書を使って学習し、評価をすることになりました。

私は、道徳科で評価することになった時、教育新聞に依頼され、次のような主旨のことを述べたことがあります。素人の素朴な意見ではありましたが、けっこう反響があったようです。



算数や音楽の成績が悪くても、「僕は、算数は苦手だが、体育は得意だ」とか、「私は、音楽には自信がないけど、国語が大好きで特に作文はハナマルだよ」と言える。

でも、「僕は、道徳の成績は良くないけど、体育は得意だ」とか、「私は、道徳は自信がないけど、国語が大好きで特に作文はハナマルだよ」とは言えない。

だって、道徳科の評価は、子どもの人間性にかかわることで、人間性を否定するような評価は考えものである。

さて、肝心の「道徳科の評価」ですが、次のようになりました。

- 数値による評価（注：ABC、321、◎○△等）ではなく、記述式である。
- 他の子どもとの比較による評価（注：相対評価という）ではなく、子どもがいかにか成長したかを積極的に受け止め励ます評価（注：個人内評価という）にする。
- 他の子どもと比較して優劣を決めるような評価はなじまないので留意する。



つまり、その子の学習状況で成長した（進歩した）様子、その子の頑張ったこと、その子の良い点を文章で表現するということです。その子のいい所を見つけて評価するので、「肯定的評価」と言われています。少し安心しましたか。

（注：あくまでも子供の頃、算数が少しできた素人の文章なので、文部科学省の「小学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編」で確認するか、学校の担任の先生にお聞きください。）（Y A Y U）

★[成美教育文化会館]（せいびきょういくぶんかいかん）で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」を読むことができます。また、そのほかに、「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館」の貸出情報など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

